



としょかんだより

蔵書点検が、1月20日(月)から29日(水)まで行われました。1年間に1度、学校の蔵書が保管場所にきちんと保管されているかを確認する大切な作業になります。現在、点検の結果の不明本のリストを先生方全員に配布し、返却の手続きの際のバーコードの読みとりまちがいのないのか、本当に所在がわからなくなってしまったのか、確認をしています。不明本が見つかったら、図書館カウンター後ろの「蔵書点検不明本発見箱」に入れてください。御協力よろしくお願ひします。

年間多読賞の選考、始まる！

蔵書点検が終わると、3月の卒業・進級を見すえ、通常の貸出し期間があとわずかになります。1年間でどれだけの本を借りたのか、年間の多読賞の選考も始まりました。1週間に2冊くらい(2×35週=70冊)以上の児童に多読賞を贈呈したいと思います。各学年の先生方が選定した必読図書すべてを読んだ上で、たくさん本を借りた児童が対象になりますので、必読図書を読み切っていない人は、まずは、必読図書を読み切ってください。

<国分寺小と児童書の歴史 6>

平成27年の夏休み中、教室の空調設備工事が行われました。また、同じ年の9月、ソーラー・風力発電実験装置が設置されました。平成31年には、国分寺西小学校と再編されることになり、西小学区の児童は、スクールバスで登校するようになりました。

この当時、発行された児童書には、「おしりたんてい(トルル)」「ノラネコぐんだん(工藤ノリコ)」「りんごかもしれない(ヨシタケシンスケ)」「ぼくのニセモノをつくるには(ヨシタケシンスケ)」「ざんねないきもの(今泉 忠明:監修)」などの本があります。どの本も、シリーズ化され、現在も引き続き好評を博し、大人のファンも多いようです。

裏面に続く

<読書週間リクエスト本、購入決定！>

読書週間に、学校で購入してほしい本の募集をしたところ、たくさんの希望が出されました。

図書館にすでに購入されている本かどうか、学校の図書館に配置するのにふさわしい本かどうか検討し、以下

のような本を購入し、新着本のコーナーに置きました。大切に読んでください。

オムライス・ヘイ!	武田 美穂	ふしぎ町のレストラン 6~8	三田村 信行
にじ色フェアリー しずくちゃん	友永 コリエ	下水道のサバイバル 1・2	ポドアルチング
ぼくのがっこう	鈴木のりたけ	世界一クラブ(角川つばさ文庫)	大空 なつき
歴史ゴーストバスターズ(ポプラキミノベル)	あさば みゆき	ゆるゆる珍獣図鑑	和音
三国志 1~5(集英社みらい文庫)	神楽坂 淳	絵本 はたらく細胞 1~6	清水 茜
四年霊組 こわいもの係シリーズ	床丸 迷人		

<いわむら かずお さん、亡くなる>

昨年、12月19日(木)に、いわむら かずお さんが、85才で亡くなっていたことが公表されました。

いわむら かずお さんは、東京都足立区に生まれ、東京芸術大学美術学部を卒業後、36才の時に、栃木県の

芳賀郡益子町に移り住み、畑を耕しながら創作活動をしてきました。

1983年に出版された「14ひきのひっこし」「14ひきのあさごはん」14匹の3世代家族が、豊かな自然を背景に、引越しゃ食料調達・料理に力を合わせて楽しく暮らす様子を、大きな見開き紙面いっぱい描き、本校の1年生の必読図書に例年選ばれています。「14ひき」シリーズ全12冊の累計発行部数は、800万部を超えるそうです。

また、子どものための哲学入門を絵本で作った「かんがえるカエルくん」など、擬人化した動物を主人公として描く作品を多く生み出しています。

1998(平成10)年、那須郡馬頭町に「いわむら かずお 絵本の丘美術館」を開設し、館長を務めていました。

訃報は、今年1月になってから公表されました。

謹んで、お悔やみ申し上げます。

